WordPress CDN導入ガイド

無料プランで始める前に確認したい、DNS・キャッシュ・SSL/TLS・動作確認の実務手順

この資料の使い方
CDNの基本を確認し、導入前の情報整理 → 設定 → 切り替え後の点検 → 運用管理の順に進めます。Cloudflare Freeプランを例にしますが、管理画面の表示や利用条件は変更されることがあります。実作業では各サービスの最新の案内を確認してください。

01 CDNでできること

CDN（コンテンツ配信ネットワーク）は、画像・CSS・JavaScriptなどを複数の配信拠点から届け、元のWebサーバーへの通信や配信負荷を減らす仕組みです。ただし、WordPressのPHP処理やデータベース処理が必ず高速化するわけではありません。

対象	導入により期待できること	確認上の注意
画像・CSS・JavaScript	キャッシュからの配信で読み込みを効率化	画像そのものの圧縮も重要
WordPressのHTML	設定によりキャッシュできる場合がある	ログイン・カート・会員情報の除外が重要
セキュリティ	サービスによりDDoS対策等を利用可能	WordPress側の更新・認証管理は別途必要

02 導入前に確認する情報

☐	確認項目	記入する情報・確認の観点
☐	ドメイン管理会社	ネームサーバーの変更権限があるか
☐	Webサーバー	公開サイトの接続先（A/AAAA/CNAME等）
☐	メール	MX、SPF・DKIM・DMARC関連のレコード
☐	サブドメイン	別サイト・社内システム・API等の利用状況
☐	SSL/TLS	オリジンサーバーの証明書とHTTPS設定
☐	既存キャッシュ	サーバー・プラグイン・他社CDNの利用状況
☐	バックアップ	変更前DNS設定とサイトデータの保全

重要：ネームサーバー変更はWebサイト以外にメール・サブドメインにも影響します。既存DNSレコードを必ず控え、メール関連のレコードを落とさないようにしてください。

導入手順｜Cloudflare Freeプランの例

1 アカウントと対象ドメインを登録

Cloudflareでアカウントを作成し、対象ドメインを追加します。プラン選択では必要な機能と利用条件を確認し、Freeを選択します。

2 DNSレコードを照合

自動検出されたDNSレコードは必ず既存のDNS設定と照合します。Web、メール、サブドメイン、TXT、必要な認証レコードを確認します。DNSSECの設定状況も確認してください。

3 プロキシ対象を決める

Web公開用レコードは必要に応じてCloudflareのプロキシを有効にします。メール用ホストなど、Cloudflare経由にすべきでないホストはDNSのみの設定を確認します。

4 ネームサーバーを変更

ドメイン管理会社でCloudflare指定のネームサーバーへ変更します。切り替え作業の時刻と変更前の設定を記録し、反映まで待ちます。

5 HTTPSとキャッシュを確認

Cloudflareと元サーバー間も保護できるSSL/TLS設定を選びます。有効な証明書がある場合はFull (strict)など、公式推奨に沿って設定を確認します。

6 公開サイトと関連サービスをテスト

主要ページ、画像、フォーム、ログイン、必要に応じてカート・決済・予約、メール送受信、サブドメインを確認します。

> キャッシュの初期方針
> まず静的ファイルの配信を確認します。Cloudflareの通常設定ではHTMLは原則として自動キャッシュされません。HTMLの積極的なキャッシュは、ログイン後ページ・カート・決済・マイページ等の除外設計と検証後に検討します。

導入直後の動作確認

テストは「表示できるか」だけでなく「業務が完了するか」を確認します。問題が見つかった場合は変更日時と症状を記録し、関連設定を絞って調査します。

☐	確認対象	具体的なテスト内容
☐	トップページ	PC・スマホ表示／画像欠け／HTTPS警告なし
☐	投稿・固定ページ	主要URLが開く／CSS・JavaScriptが正常
☐	WordPress管理画面	ログイン、編集、保存、ログアウトを確認
☐	問い合わせフォーム	実際のテスト送信・受信・完了画面
☐	メール	独自ドメインの送信・受信・認証状況
☐	サブドメイン	業務システム・別サイト・APIの接続確認
☐	会員・EC・予約（該当時）	ログイン情報／カート／決済・予約をテスト環境で検証
☐	キャッシュ	静的ファイルのレスポンスヘッダー等を確認
☐	表示速度	同条件で導入前後を複数回比較

よくある不具合と最初の確認先

症状	まず確認すること
メールが届かない	MX・関連TXT等のDNSレコードとメール接続先
SSLエラー・無限リダイレクト	元サーバー証明書、SSL/TLSモード、リダイレクト設定
画像・デザインが古い	ブラウザ／サーバー／CDNの各キャッシュ、対象URLの削除
ログイン・フォームが失敗	キャッシュ除外、WAF等のセキュリティルール、Cookieの扱い
速度が変わらない	キャッシュ利用状況、画像容量、PHP・DB処理、計測条件

運用・引き継ぎ記録シート

導入後も、担当者変更や制作会社との契約終了時に管理できるよう、主要情報を残してください。パスワードなどの秘密情報は、この配布用シートに書き込まないでください。

項目	記入欄
対象ドメイン	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Webサーバー会社	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ドメイン管理会社	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
CDNサービス／プラン	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
CDNアカウント管理担当	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
設定作業日	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
切り替え前のネームサーバー	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
問い合わせ先／保守担当	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
設定・DNSの保管場所	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

トラブル時の対応順

① 問題のあるURL・症状・発見日時を記録 → ② CDN管理画面・DNS・証明書・キャッシュの状態を確認 → ③ 影響範囲を切り分け → ④ 必要に応じて保守会社・ドメイン管理会社と調整 → ⑤ 復旧後にフォーム・メール・重要機能を再テスト。

継続点検の目安

タイミング	主な確認内容
設定変更後	動作・HTTPS・メール・サブドメインの確認
ページ更新後	新しい画像やCSSが正しく反映されるか
月1回程度	速度・キャッシュ・異常通知を確認
担当交代時	アカウント管理・DNS記録・連絡先を引き継ぐ